



766831-6-203

浴室用・浴室用以外兼用

YAZAKI

一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品

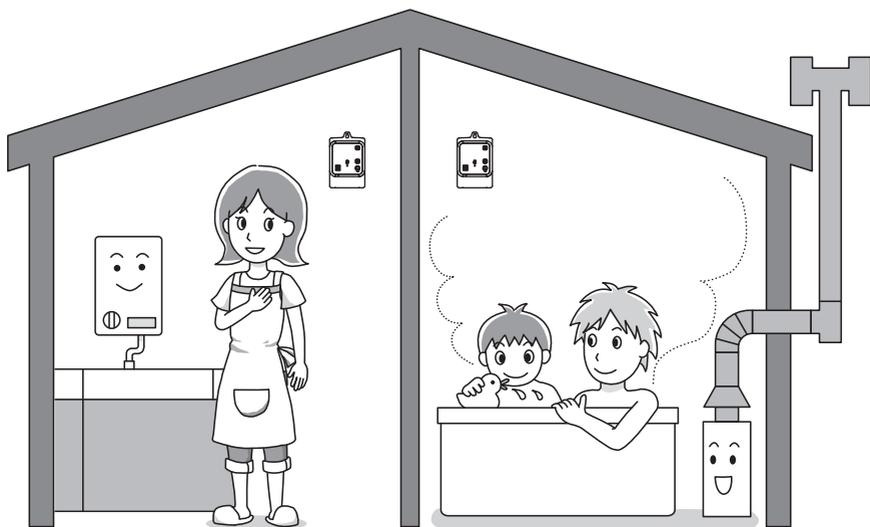
(家庭用)

# CO 警報器 取扱説明書 (保証書付)

形式名

YZ-220

CO 警報器の取付けで  
安心・快適に！



本品をご採用いただきありがとうございます。

- お使いになる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくご使用ください。
- この取扱説明書には保証書が付いております。取付け後は保証書とともにお手元に保管し、いつでも使用できるようにしておいてください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、ガス販売事業者または最寄りの矢崎 エナジーシステム株式会社にお問い合わせください。

この取扱説明書では本品を「警報器」、一酸化炭素を「CO」と表記しています。





# 警報器をご使用になるお客さまへ

警報器をお使いになる方や他の人々への危害及び財産への損害を未然に防ぐために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示をしており、その表示と意味は次のとおりです。本文をお読みになる前にご確認ください。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
	一般的な禁止
	分解禁止
	必ず行う

# もくじ

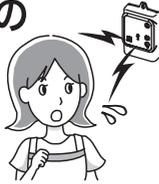
## はじめに



### ● 警報器をご使用になる皆さま及び施工される方へ

1. 対象ガス…………… 1
2. 各部の名称と働き及び主な仕様…………… 2
3. 警報音声と表示ランプ…………… 3

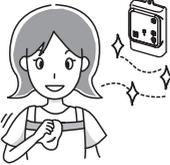
## 警報時の 処置



### ● ご使用になる皆さまへ

4. 警報器が鳴った場合の処置…………… 4

## 取扱い 方法



5. 警報器の取外しまたは移設について…………… 6
6. ご使用上の注意…………… 7
7. 定期点検…………… 8
8. 警報器を取付けている部屋などで噴霧式殺虫剤  
またはカビ取り剤などを使用されるときのご願い…………… 9
9. アフターサービス…………… 10

## 施工



### ● 施工される方へ

10. 施工される方へのご願い…………… 11
11. 取付け前の確認…………… 12
12. 取付位置の確認…………… 13
13. 取付方法…………… 15
14. 取付け後の点検(お客さま立会いのもと実施)…………… 18
15. 警報履歴の確認方法…………… 21
16. お客さまへのご説明内容…………… 22

- 保証書…………… 23



# 1. 対象ガス

## ⚠ 注意

- この警報器は、浴室内排気筒(煙突)式風呂釜をご使用のお客さま及び小型湯沸器などをご使用のお客さまに対し、不完全燃焼排気ガス中のCOを検知する浴室用及び浴室以外兼用の警報器です。
- この警報器は、ガス機器自体の不完全燃焼を未然に防止する装置ではありません。不完全燃焼などによる損害については責任を負いかねます。
- この警報器は、ガス漏れ、火災の発生は検知しません。

## CO中毒の危険性について

### 1. 不完全燃焼が起きる原因

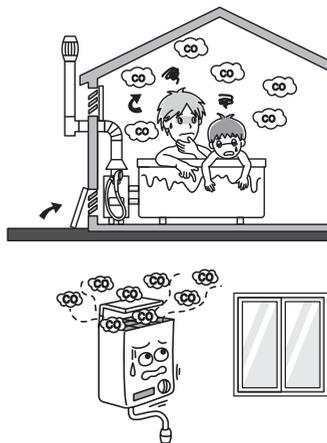
次のような原因により不完全燃焼を起こしCO中毒に至る危険性があります。

#### 排気筒(煙突)式風呂釜の場合

- 台所換気扇などを同時使用することにより、排気が浴室内に逆流する。
- 風などの影響により排気が浴室内に逆流する。
- 排気筒の外れや異物がつまることなどにより、排気が浴室内に充満する。
- 排気口や換気口の面積不足や閉塞などにより、空気不足を起こす。

#### 小型湯沸器などの場合

- 換気が不十分なとき、空気不足を起こす。



### 2. CO中毒の症状

機器などの不完全燃焼が起ると、COが発生します。

COを吸い込むと、200～300倍も酸素より強くヘモグロビンと結合するため、赤血球が酸素を運搬する能力を失ってゆき、人体に危害を及ぼします。

(頭痛・めまい・吐き気・けいれん症状を起こしたり、失神や死亡にいたる危険性もあります。)

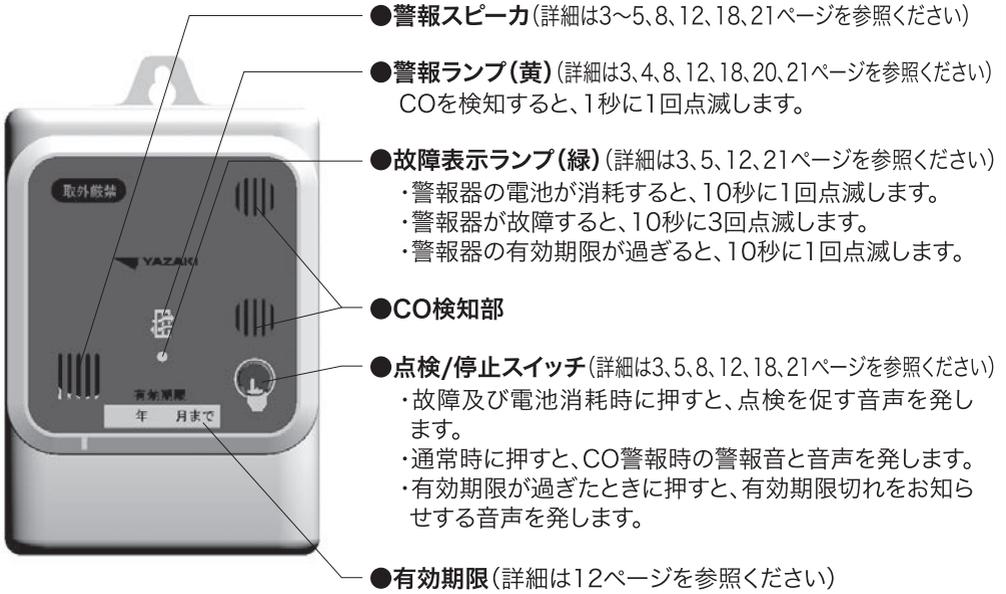
**危険**

空気中におけるCO濃度[%]	吸入時間と中毒症状
0.02	2～3時間で前頭部に軽度の頭痛
0.04	1～2時間で前頭痛・吐き気、2.5～3.5時間で後頭痛
0.08	45分間で頭痛・めまい・吐き気・けいれん、2時間で失神
0.16	20分間で頭痛・めまい・吐き気、2時間で死亡
0.32	5～10分間で頭痛・めまい、30分間で死亡
0.64	1～2分間で頭痛・めまい、15～30分間で死亡
1.28	1～3分間で死亡



## 2. 各部の名称と働き及び主な仕様

はじめに



主な仕様	対象ガス	不完全燃焼排気ガス中の一酸化炭素
	ガスセンサ	電気化学式センサ
	警報方式	黄ランプ点滅 音声合成音(自動復帰式)
	警報ガス濃度	50ppm~250ppm
	応答時間	5分以内
	警報音量	70dB/m以上
	電源	DC3Vリチウム電池(電池寿命3年)
	使用温度範囲	0℃~+50℃(水没しないこと)
	寸法・質量	130×92×33mm 約195g
	付属品	木ネジ(1本)、プラスチックプラグ(1個) 浴室用フック(1個)、ボールチェーン(1個)

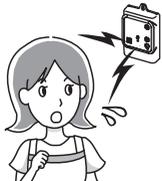


### 3. 警報音声と表示ランプ

はじめに

状態		ランプ		警報音声内容
		 (黄)	○ (緑)	
CO警報時		1回点滅 (1秒間隔)	—	「ピーポーピーポー 一酸化炭素中毒になる恐れがあります ただちにガス機器の使用を中止して換気してください ガス会社に連絡してください」
故障時	警報器の故障	—	3回点滅 (10秒間隔)	1分毎に「ピピピッ」 1時間毎またはスイッチを1回押すと 「ピピピッ 点検が必要です ガス会社に連絡してください」※
電池切れ時	警報器の電池消耗	—	1回点滅 (10秒間隔)	1分毎に「ピッ」 スイッチを1回押すと 「ピッ 点検が必要です ガス会社に連絡してください」※
有効期限が過ぎた場合		—	1回点滅 (10秒間隔)	スイッチを1回押すと 「ピッ 有効期限が切れています ガス会社に連絡してください」

※点検/停止スイッチを1回押すと、1回警報音声を発した後、警報音は停止し再度警報音を発することはありません。



●ご使用になる皆さまへ

## 4. 警報器が鳴った場合の処置

### CO警報が鳴った場合の処置

- 「ピーポーピーポーー 一酸化炭素中毒になる恐れがあります ただちにガス機器の使用を中止して換気してください ガス会社に連絡してください」と警報し、黄ランプが点滅している場合、CO警報を意味しています。

#### ⚠危険

CO警報が鳴り始めたら、**ただちにガス機器の使用を中止し、換気してください。**

換気せずにガス機器を使用し続けると、CO濃度が上昇し短時間で生命が危険な状態になる恐れがあります。

#### ⚠注意

塗料、シンナー、スプレーなどを警報器の近くで使用したときや屋外から車の排気ガスなどが入り込んだときに、一時的に黄ランプが点滅し、警報が鳴る場合があります。

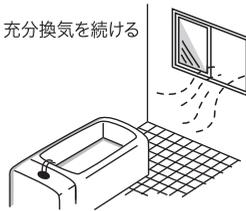
この場合は換気を行いますと自然に鳴り止みます。

必ず以下の手順で処置をしてください。

#### 1. まず、ガス機器の使用を中止してください。

#### 2. 窓や戸を開けて充分換気してください。

※CO濃度が規定値以下になるとCO警報は自動的に止まります。  
ただし、本警報器は防滴性が考慮されているため、鳴りやみ時間は通常警報器より長くなります。



#### 3. ガス販売業者に連絡してください。

※連絡先は本書の23ページに記載されています。お客さまの安全を守るため、ご面倒でも必ずご連絡ください。



### ガス機器の使用再開について

- ①ガス機器の使用を中止し、窓や戸を開けて充分換気してもCO警報が止まらない場合、再度ガス機器を使用することは絶対にしないでください。

※窓や戸を開けて充分換気し、CO警報が止まった場合も、ご使用されているガス機器が危険な不完全燃焼をしている可能性があります。

もし、ガス機器をご使用になる場合は、必ず充分な換気を確保してください。

※警報器がたびたび鳴動する場合は、危険防止のために是非お早めに安全型機器への交換をご検討ください。

- ②ご連絡いただいたガス販売事業者がお客さまを訪問し、CO測定を行って不完全燃焼する機器を特定し、お客さまにお伝えします。不完全燃焼機器については、必ず修理を行った後にご使用ください。

警報時の処置

## 警報器が故障したとき

- 1分毎に「ピピピッ」、1時間毎に「ピピピッ 点検が必要です ガス会社に連絡してください」と警報し、緑ランプが10秒間隔で3回点滅している場合、故障警報を意味しています。

※故障警報中に点検/停止スイッチを1回押すと、「ピピピッ 点検が必要です ガス会社に連絡してください」を1回発した後、警報音は停止し再度警報音を発することはありません。

### 警告

警報器が故障すると正しい警報を発することができません。

必ず以下の処置をしてください。

### ガス販売事業者に連絡してください。

※連絡先は本書の23ページに記載されています。お客さまの安全を守るため、ご面倒でも必ずご連絡ください。



## 警報器の電池が消耗したとき

- 1分毎に「ピッ」と警報し、緑ランプが10秒間隔で1回点滅している場合、電池切れ警報を意味しています。

※電池切れ警報中に点検/停止スイッチを1回押すと、「ピッ 点検が必要です ガス会社に連絡してください」を1回発した後、警報音は停止し再度警報音を発することはありません。

### 警告

電池切れをそのままにしておきますと正常に機能しない場合があります。

必ず以下の処置をしてください。

### ガス販売事業者に連絡してください。

※連絡先は本書の23ページに記載されています。お客さまの安全を守るため、ご面倒でも必ずご連絡ください。



## 警報器の有効期限が過ぎたとき

- 緑ランプが10秒間隔で1回点滅している場合、有効期限が過ぎたことをお知らせしています。

※点検/停止スイッチを1回押すと、「ピッ 有効期限が切れています ガス会社に連絡してください」と発します。

### 警告

有効期限切れをそのままにしておきますと正常に機能しない場合があります。

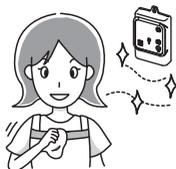
緑ランプの点滅表示がなくとも、本体に記載された有効期限を過ぎている場合は、新しい警報器にお取り替えてください。

必ず以下の処置をしてください。

### ガス販売事業者に連絡してください。

※連絡先は本書の23ページに記載されています。お客さまの安全を守るため、ご面倒でも必ずご連絡ください。





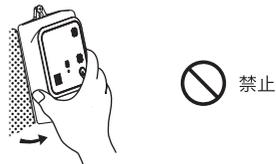
## 5. 警報器の取外しまたは移設について

### 警告

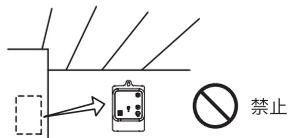
警報器は正しく設置されないと正しい警報を発することができません。

必ず以下をお守りください。

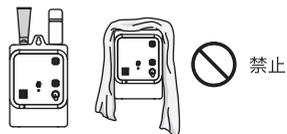
#### ●取外し禁止



#### ●移設禁止



#### ●警報器の上に物を置いたり、タオルなどをかぶせたりしない

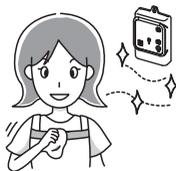


設置場所の改装のために警報器を取外しまたは移設する必要がある場合には、必ず以下の処置をしてください。

#### ガス販売事業者に連絡してください。

※連絡先は本書の23ページに記載されています。お客さまの安全を守るため、ご面倒でも必ずご連絡ください。



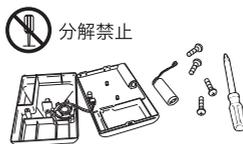


## 6. ご使用上の注意

警報器の故障を防ぐため以下をお守りください。

### 警告

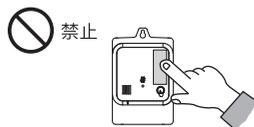
●警報器は絶対に分解改造しないでください。また、警報器を落下させたり衝撃を与えるような取扱いはしないでください。



●警報器に水や洗剤などを直接かけないでください。



●ガス検知部は絶対にふさがないようにください。  
(COを検知しなくなります)



●お手入れをされる場合は、布を水または石鹸水に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。



中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー及びアルコールは使わないでください。

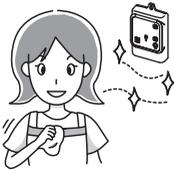


●屋外では使用できません。



●電池切れをそのままにしておきますと正常に機能しないばかりではなく、電池が液漏れする恐れもあります。  
電池が消耗した場合、必ずガス販売事業者にご連絡ください。





## 7. 定期点検

### 警報器の点検方法

- 警報器は定期的に(1ヶ月に1度)以下の手順で点検/停止スイッチを押して、正常に動作するか点検してください。

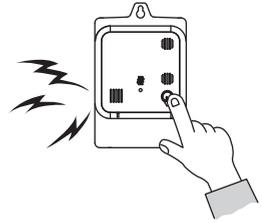
#### 警告

- 定期点検は警報器の維持管理上必要な要件です。正常に作動することを確認するために、必ず実施してください。
- 点検をするときは転倒してけがをする恐れがあります。必ず安定した台に乗って行ってください。

必ず以下の手順で点検してください。

1. 点検/停止スイッチを約1秒間押し「ピッ」と鳴ったら点検/停止スイッチから手を離してください。
2. 「ピーポーピーポーー酸化炭素中毒になる恐れがありますただちにガス機器の使用を中止して換気してください ガス会社に連絡してください」という音声が届くことと黄ランプが点滅することを確認してください。

必ず行う



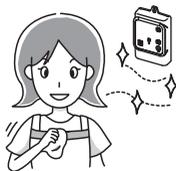
正常に作動しない場合は、必ず以下の処置をしてください。

#### ガス販売業者に連絡してください。

- ※ 連絡先は本書の23ページに記載されています。お客様の安全を守るため、ご面倒でも必ずご連絡ください。

連絡する





## 8. 警報器を取付けている部屋などで噴霧式殺虫剤 またはカビ取り剤などを使用するときのお願い

### 警告

● 噴霧または噴射が終わり、換気した後、忘れずにポリ袋を取り除いてください。



取り除く



● 警報器へのポリ袋の取付け、取外しは、高いところの作業になりますので、しっかりした踏み台などをお使いの上、転落、転倒、落下に充分注意して行ってください。



禁止



### 注意

● 警報器は強く引っ張ると取付けている木ネジがとれたり、木ネジから警報器が外れたりして、落下する恐れがあります。



禁止



● 警報器への噴霧式殺虫剤またはカビ取り剤などの噴射ガスの影響を防ぐために次の処置を行ってください。

#### 用意していただくもの

##### ポリ袋



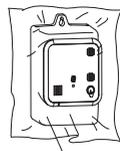
- ・ ポリプロピレン(  または >PP<表示) が好ましいですが、ポリエチレンでも一定の効果があります。
- ・ 大きさは、30cm×40cm程度が適当です。

##### 接着テープ

壁面の状況に応じた接着テープ

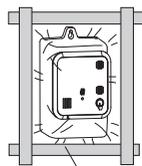
#### 作業手順

- ① ポリ袋を前面から覆い被せてください。
- ② ポリ袋と壁の隙間から噴射ガスが入るのを防ぐため、ポリ袋の端を接着テープで壁面に貼付けてください。



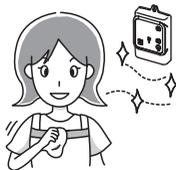
ポリ袋を前面から覆い被せる

※ポリ袋と壁面の間に隙間ができないようにテープで貼ってください。特に、ポリ袋がしわになっている部分を注意してふさいでください。



※接着テープは壁面の状況に応じて、接着しやすく、また剥がすときに壁面などを傷めないテープを使用してください。

接着テープで周囲を貼る



## 9. アフターサービス

### お願い

- この警報器は3年間の無償保証つきです。取扱説明書を守っていただいた上で警報器が正しく動作しないことが判明した場合には無償でお取替えいたします。ただし、24ページに記載されている保証適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。
- この警報器の有効期限は、お取付けの3年後です。  
有効期限とは警報器の所定の性能を維持できる期限であり、3年を経過したものは、規定のCO濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取替えください。
- 警報器の有効期限が過ぎたときは、ガス販売事業者までご連絡ください。ガス販売事業者が引き取って適切に処理いたします。ガス販売事業者にお渡しください。
- 保証書に取付け年月日及び販売店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取付け時にご確認ください。
- 保証を受けられる場合は保証書のご提示が必要です。保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについてご不明な点がございましたら、ガス販売事業者または最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社にご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検させていただきます。ガス販売事業者にご連絡ください。
- 転居する場合は、ガス販売事業者に連絡し、警報器の扱いについてご確認ください。
- 連絡先が23ページの保証書に記載されていない場合は、下記の発売元または製造元へ連絡してください。  
ただし、下記の発売元または製造元は緊急の連絡先ではありません。

### 矢崎エナジーシステム株式会社

発売元  
及び  
製造元

発売元(本社)  
〒108-0075 東京都港区港南一丁目8番15号Wビル7F  
製造元(天竜工場)  
〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4111  
(お問合わせ先)ガス機器事業部  
〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4511



● 施工される方へ

## 10. 施工される方へのお願い

### ⚠ 警告

- 本取扱説明書を最後までお読みいただき、指定された方法を遵守して取付けを行ってください。  必ず行う
- 本警報器を設置する前に、CO警報器の種類、形式などが指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定については、お客さまとよく相談して決めてください。  必ず行う
- この警報器は、設置前は出荷モードに設定されています。必ず出荷モードを解除してください。出荷モードを解除しないと正常に警報しません。※詳細は12ページを参照ください。  必ず行う
- お客さまへ引き渡す際には、必ずお客さま立会いのもとで取扱説明書記載の点検を実施してください。なお、作動不良の場合は交換してください。※詳細は18～20ページを参照ください。  必ず行う
- 取付け・点検終了後に、“16. お客さまへのご説明内容”をお客さまに説明してください。※詳細は22ページを参照ください。  必ず行う

### ⚠ 注意

- 23ページ保証書“ガス販売事業者”の欄に住所、氏名、電話番号を記入してください。記入が無いと、警報発生時やお問い合わせの必要が生じた場合にお客さまが連絡できません。  必ず行う
- 有効期限を経過して交換した警報器の廃棄処理について
  - ・ 一般廃棄物として処理を行わないで、産業廃棄物として処理してください。
  - ・ 一般廃棄物として焼却処理した場合、有毒ガスが発生する恐れがある材料が本製品には含まれています。
  - ・ 決められた処理ルートがある場合は、それに従って処理してください。 必ず行う
- 本警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取扱いには注意してください。



# 11. 取付け前の確認

## ⚠️ 警告

●この警報器は、設置前は出荷モードに設定されています。出荷モードを解除しないと正常に警報しません。

**必ず出荷モードを解除してください。**

## ⚠️ 注意

### 【出荷モード解除時の注意事項】

出荷モードの解除は、使用温度範囲(0~50℃)内の清浄な大気中で行ってください。

次のような環境で出荷モードの解除操作をすると、誤作動する場合があります。

- 燃焼器具を使用している部屋
- 自動車の排気ガスにさらされる環境
- タバコの煙にさらされる環境
- 0℃未満の環境

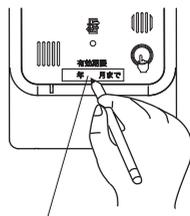
## 1. 有効期限の記入

警報器正面の有効期限記入欄及び保証書に有効期限を記入してください。

### ① 警報器本体

本体正面の有効期限記入欄に有効期限を記入してください。有効期限は取付けの3年後です。

❗️ 必ず行う



有効期限記入欄

### ② 保証書

お取付け年月日を記入してください。保証期間はお取付け年月日から3年(お取付け年月日から3年後の前日まで)となります。

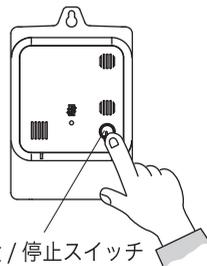
## 2. 出荷モードの解除

警報器本体の点検/停止スイッチを長押ししてください。

① 点検/停止スイッチを2秒以上ONすると「ピッ」と音が1回鳴り、緑・黄ランプが約1秒間点灯します。

❗️ 点検/停止スイッチを長押しする(2秒以上)

② 約15秒間緑ランプが点滅し、その後「ピー 正常です」と鳴れば、出荷モードが解除されます。



点検/停止スイッチ

「ピピピピッ」と鳴り、緑ランプが10秒周期で点滅する場合、警報器の故障が考えられます。必ず以下の処置をしてください。

## ガス販売事業者に連絡してください。

※連絡先は本書の23ページに記載されています。お客さまの安全を守るため、ご面倒でも必ずご連絡ください。

❗️ 連絡する





## 12. 取付位置の確認

取付位置を決めるときには、次のことをよく確認してください。

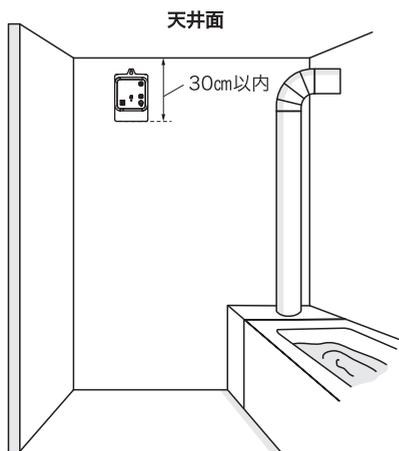
### 設置場所

#### ⚠️ 注意

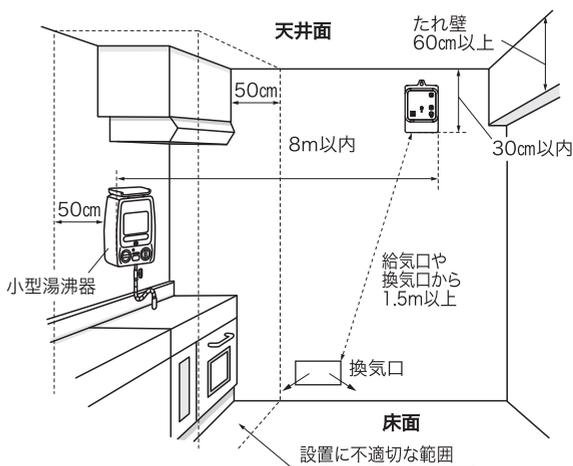
- 天井面から30cm以内の位置に設置してください。  必ず行う
- ガス機器を設置してある部屋と同一室内に設置してください。  必ず行う
- COガスが滞留しやすい位置で、ランプの確認がしやすい位置及び点検が容易にできる場所に設置してください。  必ず行う
- ガス機器からの水平距離が50cm以上8m以内の位置に設置してください。  必ず行う
- レンジフードからの水平距離が50cm以上の位置に設置してください。  必ず行う
- 給気口や換気口から1.5m以上離してください。  必ず行う

#### 取付例

##### 〈浴室内に取付ける場合〉



##### 〈浴室外で取付ける場合〉

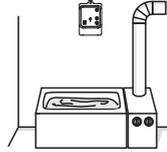


## 設置できない場所

### ⚠ 警告

- 浴槽の上には取付けないでください。

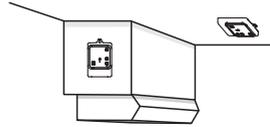
入浴中、警報器が落下した場合、ケガをする恐れがあります。



### ⚠ 注意

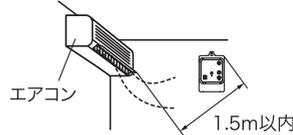
- レンジフードや天井

CO警報が遅れたり検知できないことがあります。



- エアコン、換気口などの空気の吹き出し口から1.5m以内には取付けないでください。

CO警報が遅れたり検知できないことがあります。



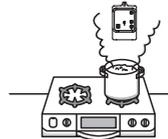
- 60cm以上のたれ壁で区切られているところ
- 換気扇、給気口、ドア付近などの風通しのよいところ

CO警報が遅れたり検知できないことがあります。



- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙など及び調理用アルコール蒸気が直接かかるところ

センサの寿命が短くなったり、誤報の原因になります。



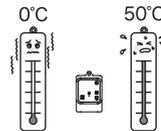
- 水や洗剤などが直接かかる場所

防滴性が考慮されていますが、水や洗剤などが直接かかるような場所への取付けは避けてください。故障の原因になります。



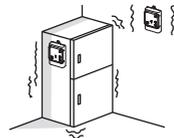
- 温度が0°C～50°Cの範囲を超えるところ

冬などに冷え込んで0°Cを下まわると、電池電圧が低下して電池切れの警報をしたり正常に作動しない恐れがあります。



- 振動、衝撃の激しいところ

故障の原因になります。





# 13. 取付方法

## お願い

- 取付場所に合わせて以下の用具を準備してください。

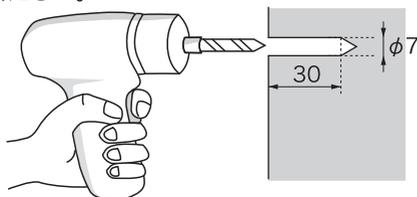
壁面がコンクリートの場合	壁面が木の場合	壁面がタイルの場合
木ネジ(付属品) プラスチックプラグ(付属品) ドリル 木づち ドライバー(+)	木ネジ(付属品) ドライバー(+)	浴室用フック(付属品) ボールチェーン(付属品) 布

## 取付手順

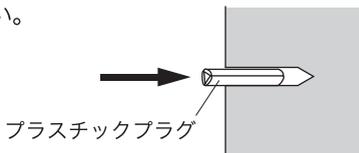
### 壁面がコンクリートの場合(付属の木ネジ及びプラスチックプラグを使用)

#### 1. プラスチックプラグ、木ネジの取付け

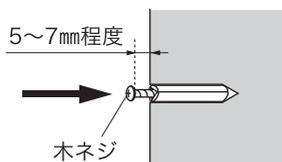
- ①φ7ドリルで深さ30mm程度の穴をあけてください。



- ②プラスチックプラグを挿入してください。入りにくい場合は木づちで打ち込んでください。



- ③木ネジを警報器取付けしる(5~7mm程度)をあけてねじ込んでください。

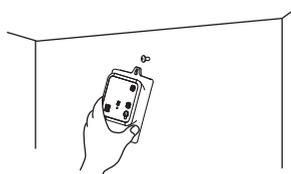


#### 2. 警報器の取付け

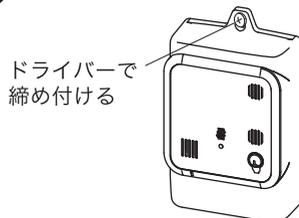
ネジに警報器本体を引っ掛けてください。その後ネジをドライバーで締めて、しっかり固定してください。



引っ掛ける



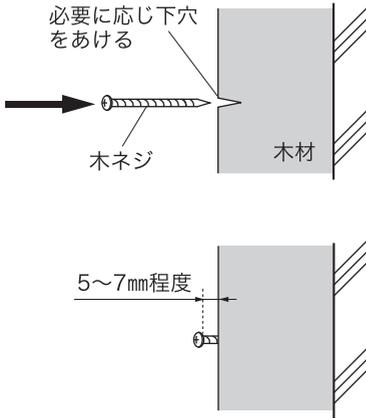
しっかり固定する



## 壁面が木の場合(付属の木ネジを使用)

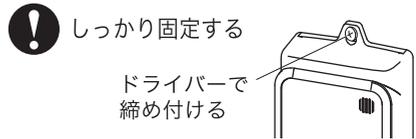
### 1. 木ネジの取付け

木ネジを警報器取付けしろ(5~7mm程度)をあけてねじ込んでください。



### 2. 警報器の取付け

ネジに警報器本体を引っ掛けてください。その後ネジをドライバーで締めて、しっかり固定してください。



## 壁面がタイルの場合(付属の浴室用フック及びボールチェーンを使用)

### ○ 取付けられるところ

- 粘着タブよりも大きいタイル
- システムバスの樹脂面や金属塗装面
- プリント合板(木質新建材)
- 板壁
- ステンレス、ガラス
- プラスチック

※プリント合板はつきにくいものがあります。接着面を消しゴムでこすってからお取付けください。

### × 取付けられないところ

- 凸凹面、ざらざら面、曲面
- 壁紙(ビニール製、布製、紙製など)、布、土壁、砂壁
- 50℃以上になるところ
- 直射日光のあたるガラス
- ワックス、フッ素・防カビ加工のしてあるところ
- 油污れの付着しているところ
- 屋外

※上記の場所では十分な粘着力を発揮できません。

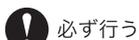
## ⚠ 警告

- 警報器の取付け以外には使用しないでください。
- 壁紙(ビニール製、布製、紙製など)には使用できません。十分な粘着力が得られず落下したり、剥がす際に壁紙が破れる恐れがあります。
- 気温-10℃以下では接着しにくくなります。ドライヤーなどで粘着タブと貼る場所を温めてからご使用ください。
- 50℃以下の状態でご使用ください。
- 粘着タブを短く切るなど加工しないでください。

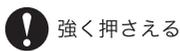
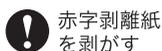
# 1. 浴室用フックの取付け

- ①取付け面をきれいにし、よく乾かしてください。

※取付け面の汚れをアルコールやベンジンでよく拭いてください。  
(家庭用洗剤は使用しないでください)



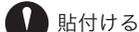
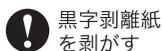
- ②タブの赤字剥離紙を剥がし、図の向きでベースに貼付けて強く押さえてください。



## ⚠注意

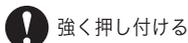
- タブの粘着面は赤字剥離紙がベース側、黒字剥離紙が壁面側となっています。貼り間違えないように注意してください。
- 粘着力が低下しますので、粘着面にざわたり貼り直したりしないでください。

- ③タブの黒字剥離紙を剥がして、天井面下 3～5cmの壁面に浴室用フックを貼付けてください。

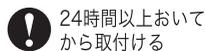


- ④浴室用フックの本体カバーを上へスライドさせて取外し、ベースを指で約30秒間強く押し付けてください。

本体カバー



- ⑤24時間以上おいてから、浴室用フックの本体カバーをベースに取付けてご使用ください。



## ⚠注意

- 粘着剤が十分な接着力を得るためには湿気が必要です。取付後は(浴室で使用の際は、入浴・シャワーなどを使用し)必ず24時間以上おいてからご使用ください。

# 2. 警報器の取付け

- ①ボールチェーンを警報器上部の穴に通してください。

ボールチェーン



- ②浴室用フックにボールチェーンを引っ掛けてください。



## ⚠注意

- 背面からの水浸入による故障を防ぐため、警報器は必ず正面取付けしてください。

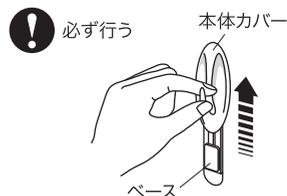


## 浴室用フックの取外しかた

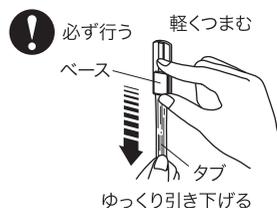
### ⚠ 注意

- ベースを支えないでタブを引くとベースがとんで、指を傷めることがあります。
- タブを壁から離して手前に引いたり、ベースを強く押さえながらタブを引くと、タブが切れたり壁面を傷めたりすることがあります。

1. 本体カバーを上部に引き上げてください。



2. ベースに手をそえ、タブを壁にそって引き下げて剥がしてください。



## 14. 取付け後の点検(お客さま立会いのもと実施)

### 1. 警報器の点検方法(警報音・警報ランプの確認方法)

- 以下の手順で点検/停止スイッチを押して、正常に作動するか点検してください。

### ⚠ 警告

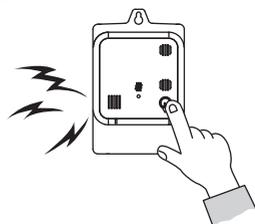
- 点検をするときは転倒しけがをする恐れがあります。必ず安定した台に乗って行ってください。

必ず以下の手順で点検してください。

1. 点検/停止スイッチを約1秒間押して「ピッ」と鳴ったら点検/停止スイッチから手を離してください。



2. 「ピーポーピーポーー酸化炭素中毒になる恐れがあります。ただちにガス機器の使用を中止して換気してください。ガス会社に連絡してください」という音声が鳴ることと黄ランプが点滅することを確認してください。

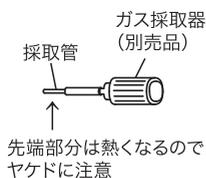


## 2. 警報器の点検方法(点検ガスによる動作確認方法)

- CO警報機能の作動点検時には、ガス採取器(別売品)とガスライター・ガスコンロなど炎から点検ガスを採取できるものを用意してください。

### ⚠️ 注意

- 長時間加熱すると、ガス採取器が破損することがありますので注意してください。
- 炎から出した直後の採取管は、先端が非常に熱くなっています。絶対に触らないでください。やけどをする恐れがあります。



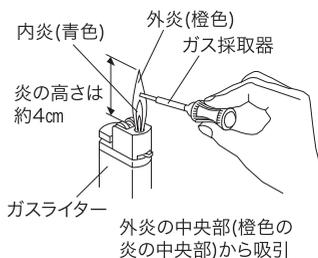
- 従来のアルコールを主成分とした点検ガス及びライター式の点検ガスは使用しないでください。センサー異常になる可能性があります。



### 1. ガス採取方法

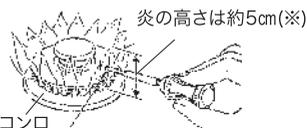
- ①周囲に引火物などが無いことを確認してからガスライター、またはガスコンロを点火し、炎の高さをガスライターでは約4cm、ガスコンロでは約5cmに調整します。炎が小さいと点検ガスを採取しにくくなります。

※ガスコンロの種類により、炎の高さを5cmに調整できない(5cm未満になってしまう)場合は、コンロの火力を最大にしてください。



外炎の中央部(橙色の炎の中央部)から吸引

- ②ガス採取器を圧縮し、先端を炎の外炎の中心部(橙色の炎の中心部)へ持っていきます。



外炎の中央部(橙色の炎の中央部)から吸引

- ③約2秒程度かけて、炎の中からガス成分(点検ガス)をゆっくり吸引します。

終わりましたら速やかにガス採取器を炎から離して、炎を消してください。

- ④ガス採取管の先端は熱くなっているため、そのまま警報器に押し当てると警報器のケースを溶かしたり傷がついたりします。ガスを採取後、必ず30秒以上冷ましてください。

## 警告

- 採取したガスは警報器の点検以外には使用しないでください。  
高濃度のCOガスを含んでいます。



## 注意

- 採取したガスを注入するときは、警報器のCO検知部から約10mm離してください。  
密着させてガスを注入すると、CO検知部が傷つき、防滴性が保持できず故障の原因になります。

## 2. 点検

①出荷モード解除後、ガス採取器の先端を警報器のCO検知部(上側)から10mm離れた位置で容器を圧縮し、採取したガスを約3秒程度かけてゆっくり1回注入します。

②ガスを注入してから60秒以内に黄ランプが点滅することを確認してください。  
黄ランプが点滅すれば警報器の動作は正常です。

※上記の操作を行っても黄ランプが点滅しない場合は、もう一度同じ手順でガスを注入してください。

(CO検知部には防滴用のフィルタが付いているため、ガスが入りにくい場合があります)

※注入ガス濃度が高い場合は、黄ランプ点滅から約1分後に警報音が鳴り始めることがあります。

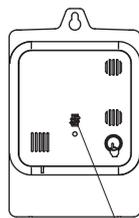
③ガス濃度が規定値以下になると、黄ランプが消灯します。  
(音声が鳴っている場合は警報音も鳴りやみます)

※ただし、通常警報器と異なり鳴りやみ時間が長くなります。

! CO検知部(上側)へ注入する



CO検知部(上側)



黄ランプ点滅



## 15. 警報履歴の確認方法

- 1年以内に警報した履歴がある場合、点検/停止スイッチを操作することにより警報回数をランプの点滅で確認することができます。  
点検/停止スイッチを6秒以上押して、「ピッ」「ピピッ」「ピピピッ」と鳴ったら点検/停止スイッチから手を離してください。

直近1年の警報回数	ラ ン プ	
	⚠ (黄)	○ (緑)
1～5回	—	3回点滅 (1秒間隔)
6回以上	3回点滅 (1秒間隔)	—

※ランプ点滅後、「ピー」と鳴り終了します。

※警報が発生していない場合(警報回数0回)は、ランプは点滅しません。



## 16. お客様へのご説明内容

お客様立会いのもとでの点検が終わったら、必ずお客様に以下の説明を行い、ご理解を得てください。

### ●警報器の説明

1. 警報点検結果の説明。
2. 取扱説明書を必ず読んでいただくことと、保証書・取扱説明書の保管のお願い。
3. 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
  - (1) CO警報の内容(黄ランプ点滅、音声音の確認)と警報時にとるべき措置の説明(4ページ参照)。
  - (2) 警報器の故障または電池が消耗した場合、有効期限が過ぎた場合(緑ランプが10秒間隔で点滅した場合)と、とるべき措置の説明(5ページ参照)。  
特に警報器の電池が消耗した場合は、断続的にお知らせ音「ピッ」が出ることの説明。
  - (3) 定期点検の説明(8ページ参照)。



必ず行う

### ●お客様への周知事項

1. 保証期間3年。
2. 警報器の有効期限(本体に表示)。
3. 保証書をお読みいただき、正しく取扱う。
4. 警報器の移設禁止(移設依頼の連絡先)。
5. 警報器の分解禁止。
6. 引越時の措置。
7. 故障・異常時の連絡先。



必ず行う

# 保証書

製品名 **CO 警報器**

このたびは、CO警報器をお買上げいただき、まことにありがとうございます。

この保証書は、本製品の保証期間内において取扱説明書に基づいた正常な使用状態で異常、故障が発生した場合、本書記載内容にて無償点検、あるいは無償取替えを行うことをお約束するものです。ただし電池は保証対象外です。

形式名	YZ-220		
お取付け年月日	年	月	日
保証期間	お取付け年月日より <b>3年間</b>		
お客さま	〒 ご住所		
	お名前		
	電話 ( )		
ガス販売事業者	住所・氏名		
	電話 ( )		

## 矢崎エナジーシステム株式会社

発売元  
及び  
製造元

発売元(本社)  
〒108-0075 東京都港区港南一丁目8番15号Wビル7F  
製造元(天竜工場)  
〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL 053-925-4111  
(お問合わせ先)ガス機器事業部  
〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL 053-925-4511

YAZAKI

## 保証規定

1. 表記の保証期間内に正常なご使用状態において、異常が認められた場合には、お申し出により無償点検、あるいは無償取替えをいたします。
2. 次のような場合には、保証期間内でも有償点検、あるいは有償取替えとなります。
  - ①本製品に異常が認められない場合。
  - ②取扱説明書に基づかないで使用し、故障または損傷した場合。
  - ③火災・天災・異常電圧・異常温度などの不可抗力による破壊または損傷。
  - ④取付位置が屋外など著しく不適當な場所で使用した場合の故障または損傷。
  - ⑤お買上げ後分解や改造などをされた場合の故障または損傷。
  - ⑥取付後の取付場所の移動、落下などによる故障または損傷。
  - ⑦水や煮こぼれなどの液体、または動植物による故障または損傷。
  - ⑧この保証書のご提示がない場合。
3. この保証書は日本国内のみにおいて有効です。

This warranty is valid only in Japan.
4. なお、この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

## お願い

- この保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 本製品の保証期間はお取付け年月日より3年間です。  
本製品は保安機器であり、お取付け後3年を過ぎたものは、是非新しいものとお取替えください。

お取替え予定日      年      月      日

